

標 題 邑智地域GAP推進研修会で普通救命講習を実施
～「万が一」に備え、正しい知識を身につけるために～

(ダイジェスト)

島根県版GAPである「安全で美味しい島根の県産品認証制度」(美味しまね認証)推進の一環として、去る12月19日、20日に労働安全に係る講習(普通救命)を行いました。受講者からは「以前講習を受けたことがあるが、忘れていることも多かった。今後も定期的に講習を受けたい」との声が聞かれました。

「GAP」は経営上のリスク対策、生産コスト削減、作業効率の向上、農作業安全・労働環境の改善等を通じて農業経営の改善に有効な取り組みであり、邑智管内では19の経営体・グループが美味しまね認証を取得しています。

美味しまね認証の取得・継続にあたっては、生産工程管理基準の各適合基準を遵守した取り組みが必要ですが、この中で労働安全の責任者は「その所掌業務に関する知識の向上に取り組む」ことが必須となっています。

そこで、新たに美味しまね認証取得を目指す者及び既取得者等を対象に、労働安全に係る講習(普通救命)を受けることにより、「万が一」に備えた関連知識と技術の習得を図ることを目的に、本研修会を開催しました。

両日とも「普通救命講習」をテーマに、江津邑智消防組合川本消防署の方をお迎えし、胸骨圧迫(心肺蘇生法の一つ)やAEDの使用法などの実技を中心に学ぶ研修会を行いました。

両日で34名が受講しましたが、受講者からは「以前、講習を受けたことがあるが、忘れていたことも多かった。今後も定期的に講習を受けたい」との声が聞かれました。

令和3年の全国の農作業死亡事故者数は242人でしたが、その約70%が農業機械作業時の事故、約25%は農業機械・施設以外の作業に係る事故でしたが、熱中症やほ場・道路からの転落による事例も多く報告されています。

今回の研修会でその知識とスキルを身につけていただき、農作業安全・労働環境の改善等を通じて農業経営の改善に繋がればと考えています。



消防署による説明



実習風景